

SEA 教育フォーラム 2017 津和野

主催：ソフトウェア技術者協会（SEA）・教育分科会（SIGEDU）、津和野町

後援：島根県

島根県における情報教育実践事例研究と教育トレンドを徹底議論Ⅱ

私たちソフトウェア技術者協会・教育分科会（SIGEDU）では、グローバルな情報通信社会におけるソフトウェア技術者や情報処理技術者をはじめ、広く一般の技術者育成および教育について、官民・産学を問わず各方面の方々と共に研究活動を展開しております。

2015年8月に島根県・津和野町において、島根県の高等学校におけるIT教育担当者と県の関係者、教育分科会メンバを交えてIT人材育成をキーワードに合宿形式でフォーラムを開催いたしました。31名の参加を得て、遅くまで議論で盛り上がりました。

あれから2年が経過しましたが、その間、Ruby言語を核とした島根県のIT施策は益々盛り上がりを見せ、それに伴いエンジニアの確保や育成にも一層力が入っています。今回のフォーラムでは、取組み事例を通じて教育現場の実態や課題の共有化を図り、教育方法論等を通じて、課題解決ができるよう幅広く意見交換ができればと思っております。関係者の参画を楽しみにしております。

1. 日 程

2017年8月25日(金)～8月26日(土) 【現地集合、現地解散】

8月25日は13:00受付開始 / 26日は12:00頃解散予定

2. 会場

【フォーラムメイン会場】 第1部、第3部会場

森鷗外記念館 会議室

住 所：島根県鹿足郡津和野町町田イ 238

TEL 0856-72-3210 FAX 0856-72-3307

URL： <http://www.town.tsuwano.lg.jp/shisetsu/ougai.html>

【宿泊施設】 第2部会場兼

津和野のお宿 よしのや

住 所：島根県鹿足郡津和野町大字後田口 1185-3

TEL 0856-72-4039 FAX 0856-72-3222

URL： <http://tsuwano-yoshinoya.jp/index.html>

3. 日程：プログラム

敬称省略

8月25日（金）

13:00 受付開始

13:30～14:00 オリエンテーション&参加者自己紹介

ご挨拶：下森博之（津和野町 町長）

開 会：牧野憲一（プラスワン・アシスト 代表）

14:00～17:00 第1部 フォーラム

米島博司（パフォーマンス・インプローブメント・アソシエイツ 代表）

埴 雅典（山梨大学教育国際化推進機構大学教育センター センター長 教授）

中野秀男（帝塚山学院大学情報メディア学科特任教授）

石倉淳一（ミニマルエンジニアリング 代表）

17:00～19:00 休憩（会場移動、夕食、会場設営）

19:00～22:00 第2部 話題提供（“よしのや”にて）

大屋純一（浜田商業高等学校 情報処理科主任）

高橋翔太（e-Front 島根支社）

その他話題提供希望者

8月26日（土）

9:00～11:30 第3部 フォーラム

山崎 進（北九州市立大学国際環境工学部 准教授）

牧野憲一（プラスワン・アシスト 代表）

山崎孝之（松江商業高等学校 情報処理科主任）

内谷 元（津和野町役場つわの暮らし推進課）

11:45～12:00 総括

12:00 解散

4. 進め方

- ・第1部、第3部の一部はフォーラムとし、講演の後、質疑応答の時間を確保します。
- ・第2部は話題提供とし、参加者の意見を広く求めます。
- ・第2部は宿舎での開催となるので、宿泊者以外の参加はご遠慮ください。

5. 運営に関して

- ・発表する際の機材は各自ご用意ください。（PCなど）
- ・スクリーンとプロジェクター、PC用の電源延長コードは準備します。
- ・配布資料があれば各自でご用意ください。

6. 参加費

第1部および第3部：無料 森鷗外記念館

第2部：10,000円 よしのや宿泊代、食事代（夕食、朝食）

懇親会費用は別途実費を徴収します。

会場までの交通費は含みません。

7. スタッフ

実行委員長：牧野憲一（プラスワン・アシスト）

実行委員：米島博司（パフォーマンス・インプローブメント・アソシエイツ）

大屋純一（浜田商業高等学校）

内谷 元（津和野町役場）

8. 申込期限

2017年7月31日（金）

9. 申し込み方法：

下記の項目を記載し、sigedu-entry@sea.jp にメールでお申込みください。

SEA 教育フォーラム 2017 津和野 参加申込書

氏名： (ふりがな)

性別：男 女

種別：SEA 会員(会員番号:)

教員 一般

所属団体（学校名）：

役職：

住所：〒

TEL：() - () - ()

E-mail：

参加セッション： 第1部 ・ 第2部 ・ 第3部 （非該当を削除）

よしのや宿泊： 必要 ・ 不要 （どちらか削除）

教育にかける思い：

10. 発表に際して一言

発表順

■米島博司 パフォーマンス・インプローブメント・アソシエイツ 代表

教育を設計する、デザインするという概念はなじみが薄いかもしれませんが、効果的かつ効率的な教育システムを実現し、学習者に最適な学習環境を提供するためには、工学的なアプローチが必要です。インストラクショナル・システムズ・デザイン：(Instructional Systems Design) は、アクティブラーニングや反転授業など様々な授業形態の基盤となる方法論です。この後に続く先生方の実践事例の紹介の前に概要をお話します。

■埴 雅典 山梨大学教育国際化推進機構大学教育センター センター長 教授

山梨大学では2012年度より、従来は教員が一方向的に話し学生は聞くだけの一斉講義が中心だった知識伝達型授業において、学生の主体的・協調的な学びを促す授業方法の研究に着手しました。議論を重ねた結果たどり着いたのが、授業前に学生がオンライン動画で講義を受講した上で、教室では理解を深める様々なアクティブラーニング活動に取り組む授業形態であり、今日「反転授業」と呼ばれる手法でした。本講演では、アクティブラーニングと反転授業の関係、反転授業の実施方法、山梨大学の反転授業の実践例とその効果分析結果、4年強の実践から見えてきたこと、などについてご紹介します。事前に以下のYoutubeビデオをご覧頂けると、取組の実態がお分かりいただけるものと思います。

<http://youtu.be/HrnHTrPPNRA>

■中野秀男 帝塚山学院大学情報メディア学科特任教授

2年前の津和野での発表から学生への講義内容も進化しているので、学生の層のABC分けを意識した講義方法や、徐々にVODも併用していることを喋ります。また学生の品質保証であり、最近のブームであるIR(インスティテューショナル・リサーチ)も担当しているので、その有力なツールであるBIツールのTableauの話もします。

■石倉淳一 ミニマルエンジニアリング 代表

島根県立情報科学高等学校で実施されているIT人材育成事業について紹介します。本取り組みは、専門高校とIT企業との連携によりこれから必要となる人材の育成を目指すものです。現役のエンジニアや事業者としての目線/立場から紹介するとともに、立場や分野を越えてチームとして人づくりをすることを議論するきっかけになれば幸いです。

■大屋純一 浜田商業高等学校 情報処理科主任

島根県立浜田商業高等学校の情報処理関連科目の教育実態について紹介します。「地域の期待に応えるビジネス教育を推進し、地域産業界を担い、将来地域で活躍できる人材を育成する。」という教育ビジョンを持って指導していますが、成果だけではなく多くの課題も

あります。ここでは、参加される方々とそれらの課題を共有し、より良い情報処理教育について情報交換ができる時間としたいと思います。

■高橋翔太 e-Front 島根支社

島根県立浜田商業高等学校における IT 人材育成事業について紹介します。本事業の目標は企業のなかの IT 推進者を育てることです。ここでいう IT 推進者とは、企業がシステムの導入・開発・運用などを行う際に IT 企業と直接話ができる人材、課題の発見・設定から解決策の提案を行うことができる人材のことを指しています。高度情報社会で活躍できる人材の育成について、情報交換ができればと思っています。

■山崎 進 北九州市立大学 国際環境工学部 准教授

北九州市立大学でのプログラミングを中心とするソフトウェア開発の教育実態について発表します。「自ら学ぶ力を持たせる」「個性に合わせて長所を伸ばす」「現実社会の問題解決の経験を積ませる」教育の実現と普及を通して、創意工夫にあふれた社会の形成に貢献しようとしてきました。これまでインストラクショナル・デザイン、反転授業、アクティブラーニングを取り入れた授業づくりと共同研究型インターンシップに取り組んできた成果を紹介します。

■山崎孝之 松江商業高等学校 情報処理科主任

島根県立松江商業高等学校での情報教育の取り組みについて紹介します。松江市では産学官の連携による「Ruby City Matsue プロジェクト」を通じて、Ruby を中心とした OSS の文化が人材育成にも広がりを見せています。本校での IT 人材育成事業やプログラミングの指導方法などについて、現状報告にあわせて参加者の皆様と意見交換できればと思います。

■牧野憲一 プラスワン・アシスト 代表

世の中、プログラミング講座が花盛りです。IoT 時代に向けて、とても素晴らしい傾向だと思いますが、私の持論は「設計なくして家建たず」です。設計講座だと集客できないのは予想できますが、少しの時間、設計に浸っていただき、少しでも設計に興味を持っていただければ幸いです。

■内谷 元 津和野町役場つわの暮らし推進課

ICT/IOT 時代に求められるインフラエンジニアの育成へ向けた取り組みと今後の津和野町の ICT の利活用に向けた将来像を紹介します。

以上